市民、主権、そして鏡　戦後における憲法第9条

茂木健一郎 × 照屋勇賢 × 渡辺真也

ゲーテは何か――
脳科学者・ヴァイオリニストによる要と蝶番の対話

〝憲法〟とは何であるかを考えた一日。〝ディベート・ジャパン〟との出会い

伊藤剛

オブジェを消せ

松澤宥

市民、主権、そして鏡

戦後における憲法第9条

マシュー・ブラック

テキスト：マシュー・ブラック
コロンビア大学人類学博士課程の学生であり、日本の戦後の問題に焦点を当てている

撮影：名和真紀子

伊藤剛「GENERATION TIMES」編集長
URL:http://www.GENERATIONTIMES.jp

★1 「国民投票法案」―日本国憲法の改正は、国会議員の３分の２の賛成によって発議され、発議を受けて国民の過半数が賛成することによって成立する。国民投票法案は、この国民投票についての手続きを定めたもの。国会で審議後、2007年5月14日に成立した。

グローバリゼーション、さらには先制攻撃が行われるような現代において、9条の役割を考えるに、私たちは二つのアリア（内的矛盾）に囲まれていることに気付く。まず第一に、私たちはどのようにして9条の意味を知りうるのだろうか？　戦争は「国家の自然権」ではなかっただろうか？　日本には既に一つ（もしくは二つ）の軍隊が存在しているのではないか？　ということである。二つ目は、より実際的な問いである。つまり、9条はどのようにして「これが意味するところ」と呼ばれるようになったのだろうか。どのように、そしてなぜ、人々はそれに対して興味を持つのか？　というものである。

私は、結局のところ、歴史にさかのぼる事なく、これらの問いにかすぎず理解する方法は存在しえないと考える。人間の大規模な移動、国際的な思想と「平和維持」の観点から見た戦争の法的合理化、国境への軍事化、つまるところ我々が現在、或代的かつ政治的なグローバル化の害悪と考えているものは、第二次世界大戦の和平調印後に初めて顕在化したのである。日本においては、政治的境界線の引きなおしにより、帝国がおおよそ人口の半分を失った、つまり、植民地から「日本人」の総人口の半数から、つまり、不公平に送還することを余儀なくされたのである。国家主権の例外的な構造は、アメリカ軍の要員として率引されたといえる。いわば、米軍政治下の沖縄がその主な例である。アメリカ国による占領の歳時局面において、反植民地化の結果を処理するための、国連の名の下で行われた朝鮮戦争によって、日本における膨大な数の帰還民族は無国籍者としと決せ状況の取り残された、そして日本全体は第三次世界大戦に巻き込まれるという恐怖にさらされたのである。日本は最初から、歴史の犠牲ではなかったのである。

この構造において、9条は形反する感情を もって「違産」である。それは、不平等な現状維持の核心であり、また人間の生き残りに関するあらゆるさまざまな考えられ時にはその両方でもある。これは抽象的、物理的な問題、もしくは単に法的な問題という抽象的な概念を通して考える事は、純粋なユートピアへの希望とそれに伴う悩ましい矛盾を曖昧にしてしまう。こうした危険を冒すことをなる。私たちは9条を、これまで続いてきた「善美的かつ政治的な運動の歴史を通して理解していく必要がある。この議論は、小熊英二が論じているように、国家主権に対する政治的な問題を別にして、誰が主権者となりうるのかという問題もある。これは、誰が、そしてどのようにこの歴史に直面してきたのかという問いである。その問いがは、政治的表現に関する問題と共に、ゆっくりとした、相反する動きの直面することによっての為問題解決への努力が行われるものであり、結局のところ、表現、それらの変化の問題と関係している。二番目は、段階的に生き残り、日常生活の安定を保証できるのか、という問いが行である。9条は、明白ではあるが非常に大き助人化理由により、日常生活の保護として理解されている。の理様に、9条はそれが取り上げられた歴史の理論のなかでのみ存在している。と言うことをする。三番目に、記憶に対する問いがはがある。第二次世界大戦のみではなく、戦後の時代そのもの、そして現在とのかかわり合いに関するものである。ここで、これらの問いかけに関する短編小説を紹介する。9条が竹内好の言葉を借りると「歴民の智慧」として理解されてきた平和運動においては最もよく知られている慣用句が、高木敏子の「ガラスのうさぎ」のような極威める平和文学の中で、私たちに届いてくる。

わたしの家の前の京葉道路の真ん中を都電が走り、後ろのほうに絶滅の電車が荷架線路を走っていた。町の中は、鉄工場、メリヤス工場、石けん工場、製糸工場と、中小の町工場がぎちぎちに詰まっていて、職人たちの生活をささえる米屋、酒屋、肉屋、八百屋、魚屋などの店が軒をつらねていました。まるで昭和の下町、というような場である寿座という芝居小屋や、小さな映画館もあり、毎日が活気なくも、働く人々の町であった。（省略）

一九四一（昭和十六）年十二月八日にはじまった大東亜戦争（わたしたちはこう教えられた）が、勝ったのもつかのまで、しだいに敗色がただよいはじめ、一九四三年の二月、ガダルカナル島の日本軍絶滅の知らせとともに、急に重苦しく暗いものになっていた。

工場で働いている若者をはじめ、工場の主人も、お店の人たちも、つぎつぎの軍隊からの召集令状一枚で兵隊に招集されていった。わたしたちだけとは、少国民と呼ばれるようになり、毎日のように出征兵士を送り行き、そして、出征兵士の家の前に整列し、兵士を送る歌をうたった。（省略）

一九四七年五月三日、わたしはこの日を一生涯わすれないだろう。この日、日本国新憲法が施行された。新聞に全文の中でわたしは第二章「戦争の放棄」ということばがていっぱいだった。

第二章　戦争の放棄

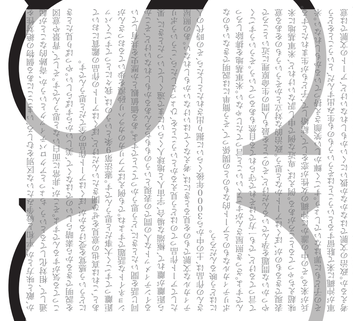
第9条　日本国は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力行使は、国際紛争を解決する手段として、永久にこれを放棄する。

2　全国の目的を達するため、陸海空、その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これは認めない。

この文面は、わたしにとって、まさに輝く太陽のように、まぶしくみえた。

平和運動における慣用句からよく知られるようなたこの表現形態は、まず戦前のプロレタリア文学の教訓的リアリズムの流れを汲んでいるが、多くの変更も行われている。高木は、1960年に締結された安全保障条約に反対する「市民」として、見ず けりのつく人物である。彼女は、東京の下町にある資産家である小売店の出身である。さらに特筆すべきはその歴史の主題である。高木の大人になるまでの道のりは、高木の自伝の中でも語かれている。見た戦争の法的合理化、国境への軍事化、つまるところ我々が現在、或代的かつ政治的なグローバル化の害悪と考えているものは、第二次世界大戦の和平調印後に初めて顕在化したのである。日本においては、政治的境界線の引きなおしにより、帝国がおおよそ人口の半分を失った、つまり、植民地から「日本人」の総人口の半数から、つまり、不公平に送還することを余儀なくされたのである。

国家主権の例外的な構造は、アメリカ軍の要員として率引されたといえる。いわば、米軍政治下の沖縄がその主な例である。アメリカ国による占領の歳時局面において、反植民地化の結果を処理するための、国連の名の下で行われた朝鮮戦争によって、日本における膨大な数の帰還民族は無国籍者としと決せ状況の取り残された、そして日本全体は第三次世界大戦に巻



ます。「9条」に関しても、当初は“日本は攻撃、自衛共に軍隊はもてない”と書いてあったのですでも、ケーディス大佐が“これでは自衛する権利さ持てないではないか”と、「自衛」という文字を削除したのです」

ケーディス大佐、彼の存在は、日本人にとって顔染み深いものではない。日本の歴史教科書に登場するのは、飛行機の階段に足を乗せ、ゴルフ帽をかぶるマッカーサー将軍のみだ。その直属の部下であったホイットニー准将がもっとも信頼を置いていたのが、このケーディス大佐である。ベアテさんいわく、実務上の統括者は彼だったのだという。

「マッカーサー将軍は、同じフロアーというだけではなく、隣りの部屋でした。でも、将軍は天皇陛下みたいなものでした。私が会ったのはカクテルパーティでの一回と、ある日私がエレベーターに乗ろうとしていると、彼が食事から戻ってロビーに帰って来た時くらい。その時、私は緊ましたけど(笑)。怖かったんです。とっても。でもケーディス大佐ですよ、マッカーサー将軍と直接話したのは実は二回だけなんです。も私も驚きました。毎日会いに行くのもとばかり思っていましたから。その事実を知ったのもつい最近のことです。4年くらい前に。だから私が理解する限りでは、彼が占領の全体を統括していたのだと思います」

彼女自身から語られる当時の歴史は、日本側から語られる“占領”のイメージとは違う面白が見え隠れする。実際、彼女はその“憲法作成の9日間”の後は通常業務に戻り、以来『憲法』に関することは二度となかった。彼女の人生にとっても、あまりに“特異”な時間だったのである。だからこそ、彼女の憲法観は一市民的な視点から外れることがない。

「『どの国でも、今のところは法律がなければならないでしょう？　何かしらまとめるルールがないと無茶苦茶になる。みんなが自分のことだけしてしまうから(笑)。でも憲法には、みんなのために一番良いことを表わすべきだと思います。私は全世界の憲法を改憲して『9条』を入れれば良いと思う。平和がもっとも重要なことだというのは、女性のくらしは自然と入っていることだと思います。それによってどうなるかは分かりませんでも、努力しなければならないし、やってみないと駄目。だって、ガンジーとかいろいろな人たちが平和を目指したけれど、成功しなかった。でも「9条」は成功するかもしれないでしょ？　とりあえず60年間は日本のために成功したのだから。それは一つの成功例です。日本は本当に誰も殺さなかったんですよ、この60年間」

彼女はいま、“憲法の母”として日本に招かれる機会が多くなった。自分の話せる範囲で、等身大に当時を振り返る。その人柄とユーモアに、日本人の“憲法”というものへの距離感は確実に変わることだろう。私自身もそうだったように。

けれどそれな彼女も来場者からされる質問に、時おり目身を狭くする。「9条のことはとがれたアメリカ人が知っているのですか？」と。彼女にとってこの憲法は、どこか遠くの国だけのものではないのだ。集めたのは世界の叡智であり、求めたのは世界中の男女平等であり、願うことは心の匪からの平和、法律家ではない、一人の人間として。

「私たちの世代は、第2次世界大戦の後は“平和になる”とみんな本当に思っていました。あまりに大変だった。“きっとみんな分かっている。今度こそ平和に向けて、戦争はもうないはず”と。でもこの60年の間、全然平和じゃなかった。とても悲しくみの人が、また殺されてしまいました。今もまだイラク。そして他の国でも……。この戦争がもっと続いて、イランでも始まってしまったら、それは全世界の終わりになると思う。今すぐ何か直さなければ、何かしなければ、このままでは20年で世界は終わってしまう。私は本当にそう思っています。その頃にはきっとそれはもう生きてない。でも、あなたは生きている。そして私の孫が生きている。かわいそう。ただそれだけですよ」

憲法を作ったのが誰であれ、それがいつのことだったのであれ、今を生きる私たちに問われている“問い”は変わらない。この展覧会がアメリカと日本の双方にとって意義深いと思うのは、まさにそこにある。

伊藤剛「GENERATION TIMES」編集長
URL:http://www.GENERATIONTIMES.jp

★1 「国民投票法案」―日本国憲法の改正は、国会議員の３分の２の賛成によって発議され、発議を受けて国民の過半数が賛成することによって成立する。国民投票法案は、この国民投票についての手続きを定めたもの。国会で審議後、2007年5月14日に成立した。

松澤宥

1930年生まれ。1960年代、「オブジェを消せ」などの過激な言動で、美術界に波紋を投げかけた。1970年代以降は、「コスモロジー」を提唱し、宇宙と人間の関係を探る作品を発表。1978年、「第1回現代詩人賞」を受賞。1979年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1980年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1982年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1983年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1984年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1985年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1986年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1987年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1988年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1989年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1990年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1991年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1992年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1993年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1994年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1995年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1996年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1997年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1998年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。1999年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2000年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2001年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2002年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2003年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2004年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2005年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2006年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2007年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2008年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2009年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2010年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2011年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2012年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2013年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2014年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2015年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2016年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2017年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2018年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2019年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2020年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2021年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2022年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2023年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2024年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2025年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2026年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2027年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2028年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2029年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2030年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2031年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2032年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2033年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2034年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2035年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2036年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2037年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2038年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2039年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2040年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2041年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2042年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2043年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2044年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2045年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2046年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2047年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2048年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2049年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2050年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2051年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2052年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2053年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2054年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2055年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2056年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2057年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2058年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2059年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2060年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2061年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2062年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2063年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2064年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2065年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2066年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2067年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2068年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2069年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2070年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2071年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2072年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2073年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2074年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2075年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2076年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2077年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2078年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2079年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2080年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2081年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2082年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2083年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2084年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2085年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2086年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2087年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2088年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2089年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2090年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2091年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2092年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2093年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2094年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2095年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2096年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2097年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2098年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2099年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2100年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2101年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2102年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2103年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2104年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2105年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2106年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2107年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2108年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2109年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2110年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2111年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2112年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2113年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2114年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2115年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2116年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2117年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2118年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2119年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2120年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2121年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2122年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2123年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2124年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2125年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2126年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2127年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2128年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2129年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2130年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2131年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2132年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2133年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2134年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2135年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2136年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2137年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2138年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2139年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2140年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2141年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2142年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2143年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2144年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2145年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2146年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2147年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2148年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2149年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2150年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2151年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2152年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2153年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2154年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2155年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2156年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2157年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2158年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2159年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2160年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2161年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2162年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2163年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2164年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2165年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2166年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2167年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2168年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2169年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2170年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2171年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2172年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2173年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2174年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2175年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2176年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2177年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2178年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2179年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2180年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2181年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2182年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2183年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2184年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2185年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2186年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2187年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2188年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2189年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2190年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2191年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2192年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2193年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2194年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2195年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2196年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2197年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2198年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2199年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2200年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2201年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2202年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2203年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2204年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2205年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2206年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2207年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2208年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2209年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2210年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2211年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2212年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2213年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2214年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2215年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2216年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2217年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2218年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2219年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2220年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2221年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2222年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2223年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2224年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2225年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2226年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2227年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2228年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2229年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2230年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2231年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2232年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2233年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2234年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2235年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2236年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2237年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2238年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2239年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2240年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2241年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2242年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2243年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2244年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2245年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2246年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2247年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2248年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2249年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2250年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2251年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2252年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2253年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2254年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2255年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2256年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2257年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2258年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2259年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2260年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2261年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2262年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2263年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2264年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2265年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2266年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2267年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2268年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2269年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2270年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2271年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2272年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2273年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2274年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2275年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2276年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2277年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2278年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2279年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2280年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2281年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2282年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2283年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2284年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2285年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2286年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2287年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2288年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2289年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2290年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2291年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2292年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2293年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2294年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2295年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2296年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2297年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2298年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2299年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2300年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2301年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2302年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2303年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2304年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2305年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2306年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2307年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2308年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2309年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2310年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2311年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2312年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2313年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2314年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2315年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2316年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2317年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2318年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2319年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2320年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2321年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2322年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2323年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2324年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2325年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2326年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2327年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2328年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2329年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2330年、「第1回ヨコハマ・ビエンナーレ」に招聘される。2331年、「第1回ヨコハマ・ビエ